

事務事業名	雲南市農業担い手フォローアップ事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課	
総 計 画 体 系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	担い手支援G	課長名	熱田 勇二
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	奥田有貴	電話番号	0854-40-1051 (内線) 2413
	目的 対 象	市内の農家	意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 1 業名 項 目 中事業 中事業 0 5 2 5 8 7 業名
	基本事業名	(109)担い手の育成・確保	意 図	農業の担い手を育成する。	農業振興総務管理事業 農業担い手フォローアップ事 業補助金	

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (28年度～ 31年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
集落営農組織等が行う機械等の整備に係る経費に対して助成する。 平成30年度は2年間の事業実施期間の1年目であり、雲南市の担い手の約半数を対象として実施した。 補助率:1/2(連携組織の補助上限額50万円、他の担い手の上限額35万円)

(2)事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 平成30～令和元年度の2年間で平成29年度末の担い手151名(人・組織)を対象に事業を開始した。 平成30年度は広域連携組織3団体と担い手69名(人・組織)の機械の導入・更新等に対して補助を行った。	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 令和元年度は、平成30年度に対象とならなかった担い手に対して機械の導入・更新等に係る補助を行う。 加えて、平成30年度に上限金額まで補助金を活用しなかった担い手に対して補助金残額を上限とし補助を行う。				
	② 活動指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	ア 補助金交付者数	人・組織	—	—	72	79
	イ					
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織 ・認定農業者 ・新規就農者 ・農地所有適格法人 等 	ア 集落営農組織	組織	85	89	92	93
		イ 認定農業者数	人	78	76	78	79
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)	
対象者に対して、経営改善に必要な機械・施設等の整備に要する費用の一部を支援することにより、農業経営の安定化と地域農業の継続的な発展をめざす。	ア 農業所得総額	億円	▲3.4	▲3.4	▲5.4	▲1.8	
	イ JALまね雲南地区本部農畜産物販売額(雲南市分)	0	21.0	23.8	23.2	26.0	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)	
■H30年度実績 ・補助金交付者:72名(人・組織) ・補助金交付額:25,191千円 (補助対象事業費:121,493千円)	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	9,200	11,000	9,100	5,900
		その他	千円				
	一般財源	千円	18,422	15,423	16,091	15,750	
	事業費計(A)	千円	27,622	26,423	25,191	21,650	
	人 件 費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
延べ業務時間		時間	270	370	350		
人件費計(B)		千円	1,071	1,508	1,516		
トータルコスト(A)+(B)	千円	28,693	27,931	26,707			

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農産物価格の低迷、飼料・農薬・機械等の高騰等による農業所得の減少に加えて、担い手の高齢化等が進んでいる。 今後、集落維持のためにも農地を守る担い手への支援や地域全域をカバーする広域連携組織の育成が重要になってくる。	平成30年度現在、市内では3組織の広域連携組織が結成されている。広域連携組織は単独の農業法人で実施することが難しい取組や後継者対策を行う側面を有するため、他の担い手よりも大規模かつ柔軟な支援が必要と考えられる。	補助制度が拡充され助かるという意見がある一方、機械等の整備には補助額が少ないとの声もある。また、農地を守る意識が強くなっている面もあり、農家に対する支援を積極的に行って欲しいとの声も強い。

事務事業名	雲南市農業担い手フォローアップ事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合 →
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合 →
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合 →
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 認定農業者、新規就農者及び集落営農組織等の主要な担い手を対象に事業を行い、集落営農組織の増加等の成果も上がっており、これ以上の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 本事業により担い手の育成確保や耕作放棄地の解消等が図られており、廃止した場合、大きな影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 他に類似事業がない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 補助対象事業費に対する補助上限額は多い額ではなく、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 補助金交付システムを作成し極力業務時間の短縮を図っており、これ以上の削減余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 市内の担い手を対象に事業実施しており、受益機会は公平である。また、受益者にも1/2以上の負担を求めており公正である。

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	省力化や効率化に必要な機械整備等を支援することにより、担い手の経営規模の維持向上及び所得向上をめざす事業であり、積極的に支援する必要がある。
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
本事業は令和元年度で終了するため、後継事業を検討し、継続的に担い手支援を図る必要がある。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					